

# 「みんなのまち」への市民自治づくりを推進します

《新規事業》

## 市民活動支援事業

⇒ 100千円

(担当:地域振興課)

市民の市政への参画を促進し、その知識や経験を活用することにより、市民の満足度を高めるとともに、市民活動の自主性の向上を図るため、市民自らが考案して実施する事業に対して支援を行います。市民から事業を公募し、審査の結果採択された事業に対して補助金を交付します。19年度においては2事業を予定しています。

## 自主防災組織の育成指導事業

⇒ 1,130千円

(担当:総務課)

自主防災組織を充実させ、市民の防災への意識を高めるとともに、地域の活性化を図るため、新設・既設の自主防災組織に対し、防災活動に必要な不可欠な資機材の整備などを実施します。宝くじコミュニティ事業助成金を活用しています。

## コミュニティづくり推進協議会活動助成事業

⇒ 2,600千円

(担当:市民課)

地域の連帯を深めるための事業を行い、住みよい地域社会の形成に貢献しているコミュニティづくり推進協議会の活動に対して助成を行います。19年度は、宝くじコミュニティ事業助成金を活用した事業に取り組みます。

## コミュニティサロン活性化事業

⇒ 4,500千円

(担当:市民課)

シルバー人材センターなどの3館の指定管理者が連携しながら、市民の交流の場であるコミュニティサロンを活用し、地域づくりの推進に取り組みます。

《新規事業》

## 本会議場会議システム整備事業

⇒ 8,000千円

(担当:議会事務局)

市民の行政への参画は大竹の将来を考える上で必要不可欠であることを踏まえ、市民の積極的な議会の傍聴を促すために、本会議場の放送設備について整備を行います。

## 男女共同参画推進事業

⇒ 70千円

(担当:企画財政課)

性別に関わらず、市民誰もがお互いを認め合い、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を早期に実現するため、講座などによる啓発事業を実施します。

## らんらんサポーター事業

(担当:生涯学習課)

ボランティア指導者「らんらんサポーター」は、現在13の活動ジャンルに延べ68人が登録しており、小学校や公民館で活躍しています。本年度は、さらに多くの団体やグループが行う体験学習や学習活動を支援していき、学びを通じた交流の中から市民参画による「まちづくり」の輪を広げていきます。(※ボランティアの協力による事業のため、事業費は予算計上していません)